

学部 / 看護専門領域 / 健康・疾病・障害の理解

科目コード：120121

# 疾病・障害論 I B (急性期) Diseases and Disorders IB

担当教員	多久和 典子 長谷川 昇 江嵐 充治 横川 明男 大西 寛明 岸谷 都 勝木 準 片田 圭一 寺田 佳世				
実務経験					
開講年次	2年次後期	単位数	1	授業形態	講義
必修・選択	必修	時間数	30		
Keywords	乳腺外科、内分泌外科、整形外科、脳神経外科、リハビリテーション、臨床推論				
学習目的・目標	疾病・障害論IAに引き続き、(1) 外科各論において、代表的疾患・障害の病態・症候・検査・治療とケアのポイントを学び、(2) リハビリテーションについて、その目的と理学療法、作業療法、言語聴覚療法の概要を理解することを目的とします。以上から、外科的疾患・急性期重症患者の病態と診断・治療の要点、回復の促進とQOLの向上に関する基本的な知識を獲得することを目標とします。最後に、(3) さまざまな症状を訴えてバーチャルクリニックに来院する患者のケース・スタディ(症例検討)を通じて臨床推論し、重要な知識の総まとめを行います。				
授業計画・内容					
回	内容				
1	乳腺外科				
2	内分泌外科				
3	整形外科(1)				
4	整形外科(2)				
5	整形外科(3)				
6	脳神経外科(1)				
7	脳神経外科(2)				
8	リハビリテーション(1)				
9	リハビリテーション(2)				
10	リハビリテーション(3)				
11	リハビリテーション(4)				
12	意識障害とその対応				
13	急性呼吸障害とその対応				
14	ケース・スタディ(1)				
15	ケース・スタディ(2)				
教科書	系統看護学講座別巻「臨床外科看護総論」・「臨床外科看護各論」・「救急看護学」(医学書院)				
参考図書等	病気がみえる Vol.2, 3, 4, 7, 9 (循環器, 糖尿病・代謝・内分泌, 呼吸器, 脳・神経, 婦人科・乳腺外科) 看護のための臨床病態学(南山堂) 看護師・看護学生のためのレビューブック(メディックメディア) なるほどなっとく解剖・生理学(南山堂) なるほそなっとく病理学(南山堂)				
評価指標	成績評価対象者: 出席2/3以上・レポート提出。試験結果 100%で評価する。				
関連科目	疾病・障害論IIA・IIB・IIC・IA、人間機能学I・II・III、人間病態学I・II、フィジカルアセスメント、看護学の各科目、臨床薬理学、臨床栄養学、人類生物学				
教員から学生へのメッセージ	チーム医療の主役の一人として、知識をどのように活用して患者に最善の医療を提供する一翼を担うことができるか、実際の医療の現場で活躍する自らの姿を思い描き、その実現のために必要な基礎知識を確実に習得していきましょう。講義に備えてたとえ30分でもテキストに目を通して予習し、講義後はその日のうちに最低30分かけて復習し、重要事項を手書きしてノートをまとめる事、この繰り返しの積み重ねで身につく事実を実感してください。解剖・生理の基本知識を確実にしておくことは言うまでもありません。				